

# 議会だより No.138

苫前郡苫前町字旭 37 番地の 1

## 苫前厚生クリニック損失補償金などの 補正予算を可決

令和6年度第4回町議会定例会は、12月19日に招集され、会期を20日までの2日間と決定。

町長から承認2件、予算6件、その他1件、議員から条例1件、意見案1件、その他1件が提出された。

2氏が一般質問を行い、追加提出の条例2件、予算6件を全て可決し、会期を1日残して閉会した。

- 一般会計補正予算（専決第1号～第6号）  
追加 1億5325万5千円  
総額 46億 321万9千円
- 国民健康保険特別会計補正予算（第3・4号）  
追加 752万1千円  
総額 4億5745万7千円
- 介護保険特別会計補正予算（第3・4号）  
追加 441万1千円  
総額 4億4305万5千円
- 簡易水道事業会計補正予算（第3・4号）  
追加 72万円  
総額 1億7743万6千円
- 下水道事業会計補正予算（第2・3号）  
追加 49万7千円  
総額 2億4417万9千円
- 風力発電事業会計補正予算（第3・4号）  
追加 64万4千円  
総額 9938万4千円

### （主な補正）

・ 地域おこし協力隊設置業務委託料	590万円
・ 水稻種子温湯消毒装置整備事業補助金	1700万円
・ 畑地化促進事業土地改良区決済金等支援補助金	755万8千円
・ 公共土木施設災害復旧工事	7356万8千円

## 令和6年 第4回定例会

12月19日

- 専決処分の報告と承認  
一般会計補正予算（専決第1号）  
838万4千円 追加
- 衆議院議員総選挙必要経費の追加
- 専決処分の報告と承認  
一般会計補正予算（専決第2号）  
107万8千円 追加
- ・ 苫前中学校床暖房ボイラー取替工事の追加
- 一般会計補正予算（第5号）  
1億2303万9千円 追加
- 国民健康保険特別会計補正予算（第3号）  
722万9千円 追加
- 介護保険特別会計補正予算（第3号）  
400万7千円 追加
- 簡易水道事業会計補正予算（第3号）  
37万9千円 追加
- 下水道事業会計補正予算（第2号）  
32万4千円 追加
- 風力発電事業会計補正予算（第3号）  
14万4千円 追加

●留萌地域公平委員会委員の推薦同意

石山 道徳氏（天塩町）

任期 令和7年3月10日から4年間

●議会の個人情報保護に関する条例の一部改正

刑法等の一部改正に伴い、「懲役」を「拘禁刑」に改める。

●えん罪被害者を速やかに救済するために再審法改正を求める意見書（別掲載）

●特別職の給与に関する条例の一部改正

職員給与に関する条例の一部改正に伴う改正。

●職員の給与に関する条例の一部改正

人事院の給与勧告により給料月額、期末手当及び勤勉手当の支給月数及び各種手当等の改正。

●一般会計補正予算（第6号）

2075万4千円 追加

●国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

29万2千円 追加

●介護保険特別会計補正予算（第4号）

40万4千円 追加

●簡易水道事業会計補正予算（第4号）

34万1千円 追加

●下水道事業会計補正予算（第3号）

17万3千円 追加

●風力発電事業会計補正予算（第4号）

50万円 追加

【質疑】  
一般会計補正予算（専決第1号）

質 伊藤議員

選挙事務用品で読取集計機を購入しているが、最高裁の選挙しか使用できないのか。

答 横野総務財政課長

システム自体は導入経費をかければ他の選挙でも対応は可能。

一般会計補正予算（第5号）

質 早川議員

地域おこし協力隊は当初予算でも計上しているが、今回の委託料の内容は。

答 加賀谷総合政策室長

当初予算は募集支援業務として計上していたが、今回は設置業務ということで、中間事業者を介し、民間事業者で

雇用、町は業務委託として地域おこし協力隊を任用する。

【意見書】

えん罪被害者を速やかに救済するために再審法改正を求める意見書

えん罪は、国家による最大の人権侵害の一つであり、えん罪被害者の人権救済は、人権国家を標榜する我が国や地域住民の人権を護る義務を有する地方自治体にとっても重要な課題といえる。

えん罪被害者の救済制度としては「再審」があるが、その手続きを定めた法律には、再審請求手続きの審理

の適正さが制度的に担保されず、公平性も損なわれている。

過去の多くのえん罪事件では、警察や検察庁といった捜査機関の手元にある証拠が再審段階で明らかになり、それがえん罪被害者を救済する大きな原動力となっている。現行法は捜査機関の手元にある証拠の開示を定めた明文の規定が存在せず、証拠開示のルールを定めた法律の制定が不可欠であることから、再審法を速やかに改正するよう要望する。

提出先 内閣総理大臣・衆議院議長・参議院議長・法務大臣

山あり！海あり！ 熊もあり！？  
苫前町で一緒に新しい風をおこしませんか？

## 北海道苫前町では、地域おこし協力隊を募集しています。

あなたの「やりたいこと」「できること」を  
苫前でカタチにしてみませんか？

苫前町では3つの分野で地域おこし協力隊を募集中です。  
あなたのこれまでの経験や人脈を活かして地域課題の解決に挑戦しませんか？

- 1 苫前地域コーディネーター**  
事業推進プロデューサーのもと、あなたが苫前町を知り、学び、発信するお仕事です。  
(未経験者歓迎！人と接することが好きな方に向いているお仕事です。)
- 2 苫前 055 (オーバー 55)**  
あなたの経験や人脈で苫前町が抱える地域課題の改善、解決を目指すお仕事です。  
(特産品開発、一次産品の販路開拓、関係人口創出、風力発電等に関わるエネルギー産業など)
- 3 苫前にぎわい創出プロジェクト**  
カフェ、和洋菓子店、理美容室など、あなたの「やりたいこと」「できること」を教えてください。コーディネーターのサポートのもと、夢の実現を支援します。

**苫前町は地域おこし協力隊を全力でサポートします！**  
苫前町では以下のような地域おこし協力隊の活動や、移住を支援する受け入れ体制の強化を行っています。

- 商工会では、**独立開業の支援**を行っています！
- 地元農事法人による**新規就農の支援**を行っています！
- 苫前町役場での**就労も支援**しています！

募集要項の詳細はこちらから

お問い合わせ 株式会社ジェイアール東日本企画（専業支援業務受託者）  
TEL:070-1314-5540 MAIL:yoden@jdev.jp 北海道苫前町 担当：興田（よでん）



大雨により法面が崩落した昭和長島線

# 一般質問

## Q 野良猫対策と有害鳥獣処理・搬入の負担軽減を A 地域猫活動推進と助成金検討 各自自治体共通課題として協議継続



質 問 伊藤 議員

### 野良猫対策について

愛玩動物である猫は、人に対し恩恵がある一方で、感染症や自然交配による個体数増加等の問題がある。

増毛町では、ボランティア団体が主体となり野良猫の不妊・去勢手術を行い、町の助成もあると聞く。

本町の野良猫対策を伺いたい。

答 弁 福士 町長

増毛町では、地域住民が自主的にボランティア団体を立ち上げ、野良猫の捕獲や不妊去勢手術をして元の場所に戻すといった『地域猫活動』を行っている事例であり、町は捕獲器の貸し出しや不妊・去勢手術に要する経費の助成及び猫の放し飼い抑制や室内飼いの推奨、首輪等の着用への奨励といった町民への働

きかけを行っている。

本町では、令和2年10月に猫を多頭飼育する世帯に対し、公益財団法人どうぶつ基金の「さくらねこ無料不妊手術事業」を活用し、総数56匹の不妊・去勢手術を実施した。また、野良猫への給餌を抑制するため、チラシ回覧による住民への注意喚起を度々行っているが、野良猫の放置による相談もあることから、更なる野良猫対策を講じていく。

1. 野良猫への餌やり行為を抑制
2. 猫の飼い主に対する放し飼いの抑制と室内飼いの推奨及び首輪等の着用の奨励と不妊・去勢手術の実施の周知徹底
3. 『地域猫活動』の推進

以上3点について取り組む一方で、行政としても活動の取り組みに対し、不妊・去勢手術に要する経費の助成措置等を検討する。

質 問 伊藤 議員

### 有害鳥獣処理について

有害鳥獣の処理は、アライグマについては役場とるもい農協苦前支所において殺処分し、羽幌町外2町村衛生施設組合に搬入されており、エゾシカについてはハンターにより処理場まで

搬入されている。

アライグマの処理に職員の負担が大きいと感じ、以前、広域で協議し対策できないかとの質問に、当時の副町長より広域で話し合う旨の答弁をいただいたが、現状どうなっているのか。

エゾシカの残渣搬入についても、軽減が図られるよう併せて協議いただきたい。

答 弁 福士 町長



アライグマの殺処分による職員の精神的な苦痛や、ストレス、また、搬入にかかる業務負担について質問をいただいた後に、副町長会議の場において問題提起はしているものの、殺処分や収集運搬業の広域・共同化などについては、負担軽減策や費用対効果等の一般的なスケールメリットが見いだせないことから、理事者レベルでの具体的提案には及んでいないのが実態。留萌

振興局主催の有害鳥獣対策会議などでも問題提起し、各自自治体の抱える共通の課題として、解決に向けて関係機関と協議したい。

職員の負担軽減については、現在、殺処分場として使用しているガレージに、町単独で25頭分を保管できる冷凍ストッカーを設置し、一時保管をすることで、毎日搬入せざるを得なかった搬入業務を、週に1回から2回程度にして負担軽減を図ることを検討している。

担当職員からはストレスなどの苦情はないが、上司が声掛けを行い、変化がないかなどメンタルヘルスケアに努めており、鳥獣処理に従事する職員には、危険や困難を伴う特殊な業務であるとの認識で、特殊勤務手当の支給も検討している。

エゾシカの搬入についても、町としても1頭当たり8千円、350頭分を上乗せして、駆除に対する報酬を交付しているが、増加していくエゾシカの捕獲後の搬入に対する軽減策について今後、関係機関とも協議していく。

# 一般質問

## Q ヒグマ駆除の実態は

## A ヒグマ対策会議を通して協力体制の維持

質問

磯崎 議員



町民の生命生活を守る観点から、苫前町のヒグマ駆除の実態や現状について伺う。

1. 町内の猟友会に対し、自治体からのヒグマ駆除の要請があった場合には応じないよう、道猟友会から通知は来ているのか。もし、通知が来ているようであれば、どのように対応する予定でいるか。

2. 自治体から猟友会にヒグマ駆除を要請する場合、どのように要請し、現場では自治体や警察がどのように関わっているのか。

3. 駆除の出勤要請をした場合のハンターに対する報酬や負傷した場合の補償は。

4. 現在、町内でヒグマ駆除に対応してくれるハンターの人数は。

答弁

富士 町長

1点目について、市町村から駆除の要請があった場合、猟友会は誠実に対応する考えは堅持するものの、一方で市街地で経験の浅い支部については、警察や市町村、道振興局などと安全な発砲の条件を協議し、事前準備をすよう求める方針を決めたところであり、市街地で捕獲したことがない支部については、冬眠期間中に関係機関と協議をし、来春に向けた協力体制を築くよう求めたところである。

本町の猟友会羽幌支部苫前部会への通達はまだ来ていないとのことだが、本町からの要請に対しては、これまでどおり協力体制を維持していただけたことと、本会には確認をしている。

2点目のヒグマの駆除要請については、農林水産課が窓口となっており、目撃情報をもとに、猟友会、警察等の関係機関と連絡をとったうえで、現場の確認を行い、発生場所、目的、常習性、動向など駆除すべき個体かどうかを総合的に判断し、有害個体であると判断した場合は、箱

わななどを設置し、捕獲を実施している。

本町の直近5年間のヒグマ捕獲状況は、令和2年が2頭、令和3年、令和4年は捕獲実績はなく、令和5年は箱わなにより雄グマ2頭を捕獲し、いずれの個体も有害個体として猟友会で駆除を実施した。

3点目の報酬や補償については、猟友会の会員は苫前町鳥獣被害対策実施隊として、町の非常勤特別職に任命していることから、ヒグマの駆除要請時は公務としての出勤となり、1日一万円の報酬を支給している。

また、万が一の負傷事故の際には、公務として実施隊の業務にあたることから、地方公務員災害補償制度が適用され、公務災害として補償される。

4点目のヒグマ駆除に対応した、苫前町鳥獣被害対策実施隊は、令和6年12月現在で、猟友会員の11名全員を任命しているが、ヒグマの出没する時期は農繁期と重なることや経験値からも、要請後すぐに対応できる隊員は3名程度であると聞いています。現在、北海道全体の問題と



出没が増え、人命を脅かすクマ

して各振興局ごとに地域連絡協議会が設置され、関係機関が様々な課題に対する認識の共有及び対策の検討や情報共有を行って、本町においても羽幌警察署、猟友会苫前部会、町によるヒグマ対策会議を開催し、猟友会からの要望などを協議し、協力体制の維持を確認した。

今後も、引き続き道や警察、そして猟友会などの関係機関との協議を継続していく。

# 委員会レポート

## 総務産業 常任委員会

11月8日

●北留萌消防組合消防署古丹別支署庁舎建設工事

資材高騰による工事費の増額  
建設工事費 10億5300万円  
外構整備費 4700万円



完成イメージ図

12月5日開催

●古丹別地区多世代交流・多機能拠点施設整備事業

A マートこたんべつ店の存続を実現するため、民間企業の実績やノウハウを最大限に活かすDBO方式を採用し、るもい農業協同組合を中心としたマネジメント機関を設ける。

新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用し、豊富な実績

を有する株式会社ホクレン商事が店舗運営を中心的に担うことで魅力向上と集客向上を図る。

デマンド交通の待合所、コミュニケーション、子供の屋内遊戯スペースなどを備えた多世代交流・多機能型の小さな拠点として整備。

事業費 7億3370万円  
国の交付金 3億6685万円  
町負担（過疎債充当） 3億6685万円

普通交付税（70%） 2億5679万5千円  
指定管理者（30%） 1億1005万5千円



※DBO方式

民間事業者者に、設計、建設、運営を一括して委ねる施設設備手法

●携帯電話等エリア整備事業（道庁力屋九重線）

山頂付近と力屋市街地外縁の2か所に基地局を整備し、山頂付近への電力線の敷設

事業費 3億4000万円  
国 2億266万6千円  
町 1億133万4千円

内訳  
事業者負担（過疎債対象外） 2482万5396円

過疎債 8840万円  
普通交付税 6190万円

事業者負担 1290万円  
北海道補助 1360万円

町実質負担 10万8604円

●地域公共交通対策

・生活路線バス等維持費補助金の減額補正  
幌延留萌線他4路線261万

3千円減額  
・豊富町から増毛町までを対象範囲とする系統の統廃合に伴うダイヤ改正

●地域づくり総合交付金（水稻種子温湯消毒装置整備事業）

留萌地区水稻種子処理センターにある水稻種子温湯消毒装置を一元化することで、加温効率の向上、一定温度の維持が可能となり消毒の精度が増し、「い

もち病」等の発生をさらに低減させ、収量増加、種籾の高品質化による発芽率向上を目指す。歳入・歳出 1700万円



●教育委員会事務事業の点検評価

令和5年度教育委員会事務事業についての報告

25事業中、A評価18事業、

B評価7事業

※評価の基準

A評価 計画通りまたは計画以上の成果が得られた

B評価 概ね目標達成出来

た

C評価 課題を残し目標十分達成出来なかった

D評価 検討段階で具体的な成果はなかった

医療対策  
特別委員会

12月5日

●地域医療対策

苫前クリニックの整備（医師定住対策）

クリニック本体建設工事

工事費 1億5310万円

医師住宅

工事費 3670万円

・公設民営で建設し、苫前地区を無医師地区にしないため医師住宅も建設。所得費用財源は、過疎対策事業債を活用。建設場所は旧福祉センター跡地を予定。



苫前クリニック完成予想図

●議会の動静

令和6年

9月12日

議会報発行特別委員会

10月8日

議会報発行特別委員会

11月2日

ふるさと苫前で集まろう

札幌市

阿部議長出席

11月12日～13日

第68回町村議会議長全国大会

阿部議長出席

11月25日

道北地方森林・林業・林産業

活性化促進議員連盟連絡会令

和6年度総会

伊藤議員出席

11月27日

苫前厚生クリニック運営委員会

阿部議長・田沢副議長・

伊藤総務産業常任委員長・

間宮医療対策特別委員会委員

長出席

12月5日

医療対策特別委員会、総務

産業常任委員会

12月11日

議会運営委員会

12月19日

第4回町議会定例会

12月20日

議会報発行特別委員会

令和7年

1月7日

議会報発行特別委員会

●令和6年度北海道社会貢献

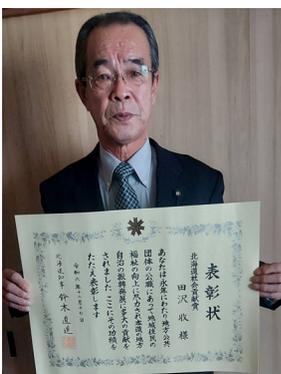
賞（自治功労者）表彰式

今年度の表彰式が、去る12

月17日にホテルポールスター

札幌で開催され、田沢副議長

が表彰された。



編集後記

2025年になりました。

年々燃料費や、生活必需品など値上がりしていき、特に雪が多い地域は生活が大変になっていくばかりです。

この先まだまだ色々なものが値上がりして大変な世の中になっていくのではないかと不安です。

12月は雪の降る日も多く毎日の雪かきや屋根の雪下ろしで体力消耗して疲れて嫌になっていく方もいるのではないのでしょうか？

苫前町には65歳以上の高齢者世帯は除雪補助金の対象となることがあるので大雪の時など無理な除雪や屋根の雪下ろしは事故や怪我につながるので困ったときは、役場の保健福祉課や社会福祉協議会にご相談してみてください。

春まで除雪作業による事故や怪我のないように、声を掛け合い乗りきりましょう。

文責 服部大輔

今年の抱負



早川委員長

今年60年に一度の乙巳（きのとみ）の年回り。無限の繁栄と成長が重なる年です。私も脱皮して成長したいです。

田沢副委員長

期数だけはベテランの領域に入りましたが、まだまだ仕事も議員活動も頑張ります！

伊藤委員

議員の命は4年間と思いが、から活動しておりましたが、残り2年となりました。町民の皆様の声を聞き、次の世代に苫前を繋げられるように頑張ります。

服部委員

今年も町民の皆様のために、一生懸命汗をかいて参ります。お困りのことがありますしたらお声がけください。